

令和元年度事業報告

I 庶務に関する事項

1 会員及び役職員の状況

(1) 会員

(単位：団体、人)

区分	年度当初	加入	退会	年度末	備考
正会員	94		1	93	
準会員	5		1	4	
合計	99		2	97	

(2) 役員

(単位：人)

区分	会長	副会長	専務理事	常務理事	理事	監事
人数	1	2	1	1	9	2

(3) 職員

(単位：人)

区分	正職員	嘱託職員	臨時職員
人数	8	2	2

2 総会の開催状況

(1) 第64回通常総会

ア 期日 令和元年6月6日

イ 場所 熊谷市 ホテルヘリテージ

ウ 議事

第1号議案 平成30年度事業報告、収支決算及び公益目的支出計画実施報告書の承認について

第2号議案 令和元年度会費の賦課・徴収方法の決定について

第3号議案 令和元年度借入金最高限度額並びに借入先・預入先金融機関の決定について

第4号議案 令和元年度役員報酬額の承認について

第5号議案 役員の新規選任について

付帯決議

3 役員会（理事会）等の開催状況

(1) 役員会（理事会）及び監査会

区分	期日	場所	会議の内容
監査会	令和元年5月10日	農業技術研究センター資料展示館	平成30年度事業報告について 収支計算書、財産目録について 公益目的支出計画実施報告書について
役員会 (理事会)	令和元年5月21日	ホテルヘリテージ	第64回通常総会に提出する議案について 新規職員の募集について 業務執行状況報告について
役員会 (理事会)	令和2年3月2日	ホテルヘリテージ	令和2年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 貸金規程の一部改正について 肉用牛生産者補給金制度務規程の改正について 肉用牛生産者補給金制度に係る生産者負担金の額の承認について 肉用牛生産者補給金制度に係る事務委託先及び事務手数料について

(2) 定例会議

常勤役員及び職員による定例会議を毎月開催し、業務の円滑な推進に努めた。

4 研修会への参加状況

研修会名	研修内容	期日	場所	人数
中央畜産会技術研修会	中央畜産研修「新任者研修」	令和元年9月3日 ～9月5日	福島県	1名
中央畜産会技術研修会	新任基礎研修及び経営指導 従事者研修	令和元年9月18日 ～9月20日	東京都	1名
全国肉用牛振興基金協会 業務研修会	肉用子牛業務研修について	令和元年12月4日 ～12月5日	東京都	1名
中央畜産会管理者研修会	令和元年度第2回管理責任者 研修会	令和2年1月30日	東京都	2名

II 業務に関する事項

1 生産技術向上対策に関する事業

(1) 畜産振興補助事業（地方競馬全国協会）

畜産経営技術指導等を推進するため、次の事業を実施した。

- ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業
- イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資する事業
- ウ 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業

(2) 畜産経営技術指導事業（埼玉県）

畜産経営に関する生産技術や財務管理などの支援に努めた。

- ア 畜産経営体支援指導研究会の開催
支援を効果的・効率的に行う手法等について、指導支援研究会で協議・検討した。
- イ 個別支援
畜産経営体からの要請に基づき次のことを実施した。
 - (ア) 経営診断に基づく改善方法等の助言
 - (イ) 財務諸表の作成、分析、及び生産技術の指導・助言
 - (ウ) 助言内容の定着を図るための巡回指導

経営診断指導実績

指導内容	実 績					備考
	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	合計	
経営診断に基づく改善指導	2	0	1	0	3	
経営管理技術指導	19	9	0	0	28	
生産技術指導	37	12	0	0	49	
フォローアップ指導	1	0	1	0	2	
合 計	59	21	2	0	82	

ウ 地域支援の実施

埼玉県養蜂協会と共催で計画したが、COVID-19の影響で集合方式から資料配布方式にした。

また、県内の畜産経営の状況や畜産ブランドについて、資料の作成を行った。

- (3) 経営革新指導事業（埼玉県）
畜産クラスター事業（畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業）の効果的な推進を図るため、クラスター協議会の指導及び本事業で導入した機械装置等の利用状況の確認などを通じ、畜産経営体の経営向上を支援した。
- ア 畜産クラスター事業の推進 2 件
 - イ 畜産クラスター協議会の指導 80 件
 - ウ 導入した施設等の運営管理・利用状況及び事業効果の把握等 41 件
- (4) 繁殖雌牛ゲノム情報収集事業（埼玉県）
肉用牛農家におけるゲノミック評価の活用方法を確立し、和牛子牛の資質向上による農家の収益力強化に努めた。
調査頭数：250 頭
- (5) 畜産団体運営費補助事業（埼玉県）
県の畜産振興に関する方針に基づき、畜産経営技術の向上、家畜登録、家畜改良増殖の普及に努め、家畜衛生指導、経営環境保全整備のための指導等行政の補完的役割を果たし会員及び関係機関と連帯し、会務の円滑な運営に努めた。
- (6) 乳用牛改良増殖推進事業（家畜改良事業団）
家畜改良事業団が乳用牛の遺伝子情報を用いたゲノミック評価を実施するために必要な、サンプルの収集を行った。
サンプル収集頭数：4 頭
- (7) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構）
肉用牛資源を確保するため、地域の中核的担い手に対し、優良な繁殖雌牛の増頭実績に応じ、奨励金を交付した。
交付額：13 戸 59 頭 5,680,000 円
- (8) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）（中央畜産会）
県内の畜産クラスター協議会の窓口団体として、構成員が要望する機械装置の導入に関し、一連の手続きなどを支援した。
- ア 導入機械装置数 3 協議会、11 取組主体、3 件
 - イ 現地確認調査 1 協議会、1 取組主体、1 件
- (9) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（全国推進事業）（中央畜産会）
畜産経営の経営実態把握のための動向調査を実施した。
酪農経営実態動向調査 2 戸
- (10) 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT 事業）（中央畜産会）
酪農・肉用牛農家における労働負担軽減・ICT 化に係る飼養管理技術の高度化に資する機械装置の導入を希望する農家への支援・普及推進を行った。
- (11) 酪農労働力省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪 GO 事業）（中央畜産会）
酪農家における労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入及び一体的な施設整備を支援した。
- (12) 畜産現場における障がい者雇用促進支援事業（中央畜産会）
畜産業における新たな労働力の創出と畜産現場における障がい者の参画を促進するため、特別支援学校の生徒・保護者を対象に現場見学会などを開催した。
- ア 令和元年 10 月 19 日 深谷市 肉用牛農家 特別支援学校生徒・保護者 8 名参加

イ 令和2年2月19日～20日 児玉郡上里町 肉用牛法人 3名参加

(13) 畜産環境整備リース事業（畜産環境整備機構）

畜産経営に起因する環境汚染等を防止するとともに、環境保全技術の進歩に合わせて、飼養環境の整備をすすめるため、家畜ふん尿処理等に必要な施設・機械等を貸し付け、畜産環境保の保全と、経営の健全な発展を支援した。

(14) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会）

畜産近代化リース協会が、県内畜産農家に貸し付けた機械施設について、利用管理状況の調査及び経営指導をを実施した。

ア バルククーラー 1戸 1基
イ バーンクリーナー 1戸 1基

(15) 畜産・酪農生産力強化緊急対策事業（中央酪農会議）

ア 性判別精液を利用し、乳用種後継牛の確保を図った農家に補助金を交付した。

取組頭数 415頭 補助金 1,765,000円

イ 性判別受精卵を利用し、優良乳用牛の確保を図った農家に補助金を交付した。

取組頭数 5頭 補助金 415,000円

ウ 和牛受精卵を利用し、和子牛生産の拡大を図った農家に補助金を交付した。

取組頭数 104頭 補助金 2,014,000円

(16) 家畜共進会の開催等

ア 第55回埼玉県乳牛共進会については、CSFが県内外で発生したことから中止を余儀なくされた。

イ 市町村、会員団体等が主催する各種共進会、共励会の要請に応じて審査員を派遣し、団体に対して賞状、賞品を交付し、家畜改良の啓発普及を図った。

2 経営安定対策に関する事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務受託（農畜産業振興機構）（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

畜産経営の安定に関する法律第3条の規定に基づく肉用牛の交付金の交付業務の円滑な実施を図るため、積立金管理者として制度の普及や交付金交付業務等を行った。

ア 交付金交付契約者件数（平成31年4月1日現在）：55件

イ 積立金管理状況

（令和2年3月31日現在（単位：頭、円））

種別	事業対象登録頭数	生産者負担金	負担金交付額	年度末残高
肉専用種	6,148	36,894,000	1,334,868	43,461,341
交雑種	2,157	36,669,000	542,726	45,408,501
乳用種	2,369	45,011,000	24,266,563	34,504,858
合計	10,674	111,574,000	26,144,157	123,374,700

ウ 交付金交付実績

令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）

（単位：頭、円）

区分	延交付人数	交付頭数	交付金交付総額	平均交付金単価
肉専用種	64	897	9,907,649	11,045
交雑種	52	424	4,343,999	10,245
乳用種	74	1,905	76,838,779	40,335
計	190	3,226	91,090,427	28,236

(2) 肉用子牛生産者補給金制度（農畜産業振興機構）

ア 個体登録頭数及び生産者積立金造成額（平成31年1月～令和元年12月）（単位：頭、円）

品種区分	登録頭数	積立金単価	積立金額	負担内訳		
				機 構	県	生産者
黒毛和種	68	1,200	81,600	40,800	20,400	20,400
褐毛和種	0	4,600	0	0	0	0
その他肉専	0	12,400	0	0	0	0
乳用種	206	6,400	1,318,400	659,200	329,600	329,600
乳用交雑種	622	2,400	1,492,800	746,400	373,200	373,200
計	896	—	2,892,800	1,446,400	723,200	723,200

イ 補給金交付頭数及び補給金総額

令和元年度（平成31年1月～令和元年12月分）（単位：頭、円）

区 分	交付頭数	補給金単価	補給交付金額
黒毛和種	0	0	0
褐毛和種	0	0	0
その他肉専用種	0	0	0
乳用種	0	0	0
乳用交雑種	0	0	0
合 計	0	0	0

※令和元年度（平成31年1月～令和元年12月）においては、子牛価格が高値で推移したため、生産者補給金の発動には至らなかった。

(3) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（農畜産業振興機構）

補給金制度運営適正化事業及び指定協会調査指導事業を実施し、本制度における事務の適正かつ円滑な実施体制の確保が図れた。また、事務委託先及び生産者に対する事務の適正な実施指導に努めた。

(4) 指定協会運営体制支援事業（農畜産業振興機構）

農畜産業振興機構の補助を受けるなど、補給金制度を適正かつ円滑に推進するため、運営体制強化を図った。

(5) 肉豚経営安定交付金制度に係る業務委託事業（農畜産業振興機構）

豚枝肉平均価格が保証基準価格を下回った場合に発動される事業の内容及び、提出書類作成についての説明会を開催し、事業の適正な実施に努めた。

(6) 鶏卵価格安定対策事業（埼玉県）

鶏卵生産者が鶏卵価格差補てん金の財源として積み立てる生産者積立金のうち卵価が補てん基準価格を下回った月に係る生産者積立金の一部に対し助成した。

ア 価格補てん発動月 平成31年4月 令和元年5・6・7・8月 令和2年1・2月 7回

イ 対象農家 15戸

ウ 生産者積立金の県費一部助成金 9,736,212円

(7) 鶏卵生産者経営安定対策事業（日本養鶏協会）

県内の事業参加生産者に対し、生産者積立金等の納付状況、報告書類の提出状況の管理に関する事務、鶏卵販売実績報告書の確認調査、また採卵用成鶏めす飼養羽数10万羽未満の確認のための現地調査等の業務を受託し、事業の適正な実施に努めた。

(8) 東京電力原発事故に係る肉用牛経営損害賠償窓口事業（会単独事業）

東京電力福島原発事故に伴う放射性物質の流出により受けた肉用牛経営における損害賠償について、本会が県協議会の取り纏め窓口となり事業を実施した。

対 象 者	請求月	戸数	請求頭数	請求額	支払状況
肉用牛肥育経営	平成30年4月～31年3月	36戸	2,270頭	5,702,272円	請求中

3 家畜改良対策に関する事業

(1) 家畜登録事業（日本ホルスタイン登録協会、日本養豚協会、全国和牛登録協会）

家畜の改良増殖を促進するため、登録3団体の委託団体として登録業務を実施した。

家畜登録実績

(単位：件・%)

ホルスタイン種				種 豚				和 牛			
区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画
血統登録	330	394	119.4	種豚登録	100	164	164.0	子牛登記	1,000	1,353	135.3
移動証明	30	2	6.7	繁殖産子産肉	40	0	0	基本登録	150	254	169.3
牛群審査	80	154	192.5	子豚登記	170	141	82.9	移 動	30	56	186.7
体型調査	60	60	100.0	子・種移動	40	10	25.0	遺伝子型他	320	342	105.9
検定証明	300	457	152.3	その他	20	91	455.0	その他	—	19	—
その他	0	8	—	黒豚証明他	130	45	34.6				
計	800	1,093	136.6	計	500	451	90.2	計	1,500	2,024	134.9

(2) 牛凍結精液配布事業

乳牛及び和牛の改良を促進するため、家畜改良事業団等の窓口団体として凍結精液等の販売を行った。

配布実績

(単位：本 %)

区 分		前年実績	本年実績	対前年比
家畜改良事業団	乳牛(一般)	235	157	66.8
	乳牛(性判別♀)	639	557	87.2
	和牛	5,479	6,113	111.6
ジェネティクス北海道	乳牛(一般)	656	534	81.4
	乳牛(性判別♀)	638	907	142.2
	和牛	633	541	85.5
十勝家畜人工授精所	乳牛(一般)	239	277	115.9
	乳牛(性判別♀)	52	39	75.0
	和牛	618	294	47.6
輸入精液・その他	乳牛	910	564	62.0
他県・その他授精所	和牛	1,153	988	85.7
合 計		11,252	10,971	97.5

[参考] 年度別精液配布実績推移

(単位：本.%)

区 分	乳 牛		和 牛		合 計	
	取扱実績	対前年比	取扱実績	対前年比	取扱実績	対前年比
22	5,960	84.6	6,717	121.5	12,677	93.4
23	5,338	89.6	5,795	86.3	11,133	87.8
24	5,153	96.5	5,855	101.0	11,008	98.9
25	4,758	92.3	7,088	121.1	11,846	107.6
26	3,704	77.8	5,729	80.8	9,433	79.6
27	4,465	120.5	5,926	103.4	10,391	110.2
28	3,780	84.7	7,228	122.0	11,008	105.9
29	3,781	100.0	7,553	104.5	11,334	103.0
30	3,369	89.1	7,883	104.4	11,252	99.3
1	3,035	90.0	7,936	100.7	10,971	97.5

4 家畜防疫体制確保に関する事業

(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業（農林水産省）

ヨーネ病、牛白血病等、BVD-MD（牛ウイルス性下痢）の発生、流行防止対策等を推進し、家畜の損耗防止を図った。また、生産者による飼養衛生管理の向上に努めた。

ア ヨーネ病早期清浄化対策

ヨーネ病まん延防止等のための自主とう汰等を推進した。

イ 牛白血病感染拡大防止対策

牛白血病の検査等を推進した。

(ア) 浸潤状況の確認等	検査頭数	836 頭
(イ) 吸血昆虫の忌避・駆除対策	対象農家	3 戸
(ウ) 高リスク牛の自主淘汰	淘汰頭数	3 頭

ウ BVD-MD 対策

BVD-MD の検査等を推進した。

BVD-MD 検査	検査頭数	109 頭
-----------	------	-------

エ 農場飼養衛生管理強化対策

飼養衛生管理基準に基づき、獣医師等による衛生指導を実施した。

指導農家	16 戸
------	------

(2) 牛疾病検査円滑化推進対策事業（農林水産省）

BSEを早期に根絶し、生産者や消費者の安心と信頼を回復するために、死亡牛の円滑かつ適正な処理体制の確保と、その検査を推進した。

ア 協議会の開催 1 回

イ 死亡牛輸送・処理費の補助

(ア) 対象死亡牛頭数	通常死亡牛（96ヶ月齢以上）	73 頭
	48～96ヶ月齢未満の起立不能牛でBSE検査を行った牛	93 頭
(イ) 補助金	輸送費補助：581,000 円	
	処理費補助：37,500 円	合 計 618,500 円

(3) 家畜防疫互助基金支援事業（農畜産業振興機構）

口蹄疫、豚コレラ等の海外悪性伝染病の発生に備えて、互助基金の加入促進を実施した。また、豚基金加入者に対し、CSF発生に伴う基金の枯渇から、3倍額の追加徴収を行った。

令和元年度生産者積立金状況

(単位：頭，円)

区分	契約戸数	契約頭数	積立金額
養豚	38	77,235	12,132,900
乳用牛・肉用牛	155	20,561	2,822,765

(4) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会）

馬飼養衛生管理体制の総合的な整備を図り、効果的な馬防疫を推進し、多様な飼養目的、飼養形態下にある馬衛生の向上に資するため、馬飼養衛生管理体制整備委員会・技術講習会の開催、地域馬獣医療実態調査を実施した。

ア 委員会の開催 1回

イ 技術講習会の開催 1回 演題：「馬の健康のための飼養管理」

ウ 地域馬獣医療実態調査 対象：馬飼養者 76 戸

(5) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会）

競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザワクチン接種及び、繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎ワクチン接種の推進を図ることにより、発生リスク等の低減、清浄化を図った。

ア 馬インフルエンザワクチン接種

(ア) 接種頭数 251 頭

(イ) 補助金 464,350 円

(6) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会）

生産現場における家畜防疫体制の強化を図るため、伝染性疾病発生時の防疫対応を支援する防疫演習等を行った。また、競走用馬、輸入馬における馬伝染性貧血検査を推進した。

ア 防疫演習

(ア) 特定家畜伝染病（CSF）防疫演習（熊谷家保管内他） 107名参加 熊谷市 令和元年7月3日

(イ) 特定家畜伝染病（CSF、鳥インフルエンザ等）防疫演習（川越家保管内） 46名参加 川島町 令和2年2月4日

イ 馬伝染性貧血検査 検査頭数 38 頭

(7) 予防接種事業（会単独事業）

家畜の損耗防止を図るため、次のとおり予防接種を実施した。

予防接種名	頭数	予防接種名	頭数
豚オーエスキー病	5,100 頭	牛伝染性鼻気管炎	447 頭
豚日本脳炎	342 頭	牛アカバネ病	221 頭
豚丹毒	9,705 頭	牛イバラキ病	225 頭
豚異常産	0 頭		

(8) 埼玉県豚コレラ緊急対策事業（バイオセキュリティ強化）事業（県）

県内の豚コレラ発生に伴い、養豚場のバイオセキュリティ強化を推進するため、下記の業務を実施した。

ア 養豚経営体への事業周知及び照会対応 78 件

イ 機械等の整備のための巡回実施指導 36 件

5 消費者信頼確保に関する事業

(1) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会）

組織の活性化を推進するため、畜産団体の支援を図るとともに、浦和競馬場において支援活動を行い、地方競馬の発展を支援した。

ア 仲間づくり 1 回

イ 畜産経営相談窓口 6 日/月

(2) 畜産女性経営者育成強化事業（中央畜産会）

畜産経営の中核的な役割への女性参画の拡大及び女性の地位向上を目指し、女性自身の経営者能力の向上等を図った。

ア 農業簿記研修会 令和元年 9 月 11 日 1 回

イ 畜産女性 POP 研修会 令和 2 年 2 月 12 日 1 回

(3) 畜産振興事業（県浦和競馬組合）

浦和競馬支援のため、競馬場内での畜産物の販売等ファンサービス活性化対策及び場外の畜産イベントや広報誌による宣伝活動を行った。

(4) 畜産物消費拡大事業（会独自事業）

彩の国畜産物の販売促進や安全安心のためのシール発行及び畜産イベント等に参加し、県内畜産産物の消費拡大を図った。

ア 2019 彩の国食と農林業ドリームフェスタの開催に合わせ「おいしさいっぱい畜産フェア」を同時開催した。

令和元年 11 月 16～17 日 草加市「まつばら綾瀬川公園」

(5) 馬事畜産振興推進事業（馬事畜産振興協議会）

埼玉県馬事畜産振興協議会を開催するとともに、浦和競馬において、冠レースを開催した。

(6) 畜産振興諸活動（会独自事業）

関係機関の審議会、協議会等に本会の役員が委員、役員等として就任し本県畜産の振興に寄与した。また、本会広報誌「畜産埼玉」を 2 回／年発行し、会員及び関係機関に配布した。

6 畜産関係団体の事務受託

本会業務に関連のある団体の事務局を受託し、各団体の事業計画に基づき、諸事業の円滑な推進に努めた。

(1) 埼玉県酪農協会・・・・・・・・・・会員：団体 12、個人 68、賛助 16

全酪新報の配布

(2) 埼玉県肉用牛経営者協会・・・・・・・・・・会員：団体 6、個人 48、賛助 6

研修会、セミナー、その他

(3) 埼玉県養豚協会・・・・・・・・・・会員：団体 7、個人 48、賛助 24

埼玉県養豚経営安定対策事業、研修会、青年部活動、CSF 対策、その他（JPPA 業務）

(4) 埼玉県養鶏協会・・・・・・・・・・会員：団体 9、個人 17、賛助 42

研修会、青年部活動、日鶏協関東甲信越養鶏大会、その他

(5) 埼玉県養蜂協会・・・・・・・・・・会員：個人 130

ハチミツ品評会、ハチミツ即売会、研修会、養蜂物資斡旋窓口、その他

(6) 埼玉県畜産技術振興会・・・・・・・・・・会員：団体 11、個人 127（繁殖部会 127）

技術研修会、受託事業、改良増殖事業、技術発表全国大会の参加、その他

(7) 埼玉県畜産懇話会・・・・・・・・・・会員：団体 20

畜産情勢の情報交換、消費促進活動、畜産施策の要請、その他

- (8) 畜産女性いきいきネットワーク埼玉・・・会員：個人 21、団体 5
情報交換、消費者との交流、食育、後継者育成支援、その他
- (9) 埼玉県牛群検定組合・・・会員：個人 23
研修会・勉強会の開催、その他
- (10) 埼玉県粗飼料利用研究会・・・会員：個人 65、団体 9、賛助 8
会報「ふぉーれーじ」の発行、研修会・検討会の開催
- (11) 埼玉県秩父高原牧場利用者互助会・・・会員：個人 40、団体 2
牧場預託牛の事故等に対し補助金の交付、衛生対策の実施
- (12) 埼玉県CSF感染拡大防止対策協議会・・・県 11 市町村 22 民間団体 4
野生イノシシにおけるCSFウイルス拡散防止を図るための、経口ワクチン散布・回収
及び浸潤状況調査

公益目的支出計画実施報告書

監査日 令和2年5月7日

【平成31年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の概要】

1. 公益目的財産額	396,712,229 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額（（1）＋（2）－（3））	255,971,359 円
（1）前事業年度末日の公益目的収支差額	252,582,703 円
（2）当該事業年度の公益目的支出の額	1,409,990,179 円
（3）当該事業年度の実施事業収入の額	1,406,601,523 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	140,740,870 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 公益目的支出計画とほぼ同額であり、計画通りである。	

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	（1）計画上の完了見込み	令和65年3月31日
	（2）（1）より早まる見込みの場合	令和26年3月31日

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	計画	実績
公益目的財産額	396,712,229 円	396,712,229 円	396,712,229 円	396,712,229 円	396,712,229 円
公益目的収支差額	5,549,500 円	252,582,703 円	5,549,500 円	255,971,359 円	33,297,000 円
公益目的支出の額	916,876,500 円	615,873,094 円	916,876,500 円	1,409,990,179 円	916,876,500 円
実施事業収入の額	911,327,000 円	610,848,241 円	911,327,000 円	1,406,601,523 円	911,327,000 円
公益目的財産残額	391,162,729 円	144,129,526 円	391,162,729 円	140,740,870 円	363,415,229 円

監査報告書

令和2年5月7日

一般社団法人 埼玉県畜産会
会長 坂本 富雄 様

一般社団法人 埼玉県畜産会

監事

印

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の業務及び会計の監査を行い、本監査報告を作成し、下記のとおり報告します。

記

1 監査の方法及びその内容

- (1) 定款23条の規定により、業務監査について理事会に出席し、理事からの業務報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 定款35条の規定により、会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討し、また、公益目的支出計画実施状況の調査を行った。

2 監査の結果

- (1) 業務報告は、法令及び定款に従い正しく示しており、また、理事の職務についても適正に執行されていることを認める。
- (2) 法人法で定められた計算書類等【令和元年度に係る貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、事業報告書】は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産目録は、いずれも適正であると認めるとともに、公益目的支出計画実施報告書は、公益目的支出計画の定めたところにしたがって、適正に支出を行っていることを認める。